

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					5860	ここに響くハーモニー事業～四季の風コンサート～				教育委員会	中央公民館
1 事業概要		中事業番号		1164								所属コード	541000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅱ「交流・観光の未来」	4.7									郡山市ゆかりの若手音楽家による気軽に参加できるコンサートを実施する。	若手音楽家の発掘、育成と公会堂の有効活用、さらに「音楽都市こおりやま」のイメージの定着を図る。	
施策	2 国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまち												

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
公共機関が実施する「市民が気軽に観賞できる良質なコンサート」が少ない。	行政が実施主体となって開催される「市民が気軽に鑑賞できる多様で良質な室内コンサート」は増えてきているが、若手音楽家の活躍の場はまだまだ少なく、演奏できる施設も限られている。	若手音楽家育成に対する市民ニーズは高いが、活躍の場が少なく演奏できる施設も限られていることから、若者にとって魅力ある都市創造のため、若手音楽家が参加できるコンサートの開催が求められる。	来場者へのアンケートから、コンサートに関して市民のニーズは高く、良質なコンサートを気軽に聞きたいなどの要望がある。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	コンサート開催回数	回	4	2	4	3	4	3	4		4		4	4		
活動指標②	若手音楽家のべ参加者数	人	16	20	16	61	16	38	16		16		16	16		
活動指標③																
成果指標①	コンサートのべ来場者数	人	600	327	600	488	600	538	600		600		600	600	600	600
成果指標②	公会堂の稼働率	%	60	66	60	81	60	84	60		60		60	60	60	60
成果指標③	来場者の満足度	%	70	93	70	93	90	91	90		90		90	90	70	70
単位コスト（総コストから算出）	コンサート来場者1人あたりのコスト	千円		3.9		2.7		2.0	2.7		2.7		2.7	2.7		
単位コスト（所要一般財源から算出）	コンサート来場者1人あたりのコスト	千円		3.9		2.7		2.0	2.7		2.7		2.7	2.7		
事業費		千円		431		302		350	760		760		760	760		
人件費		千円		840		1,002		723	840		840		840	840		
歳出計（総事業費）		千円		1,271		1,304		1,073	1,600		1,600		1,600	1,600		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		1,271		1,304		1,073	1,600		1,600		1,600	1,600		
歳入計		千円		1,271		1,304		1,073	1,600		1,600		1,600	1,600		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
・コンサートの開催数は、10月から年度末まで公会堂の空調工事が入っていたこともあり、昨年同様3回の実施となった。 ・演奏者の人数は、1回目がプラスバンド30人と多かったため、計38人で計画値の16人を上回った。（2回目6人（ピアノ3、バイオリン2、フルート1）、3回目2人（クラシックギター、ソプラノ））	・コンサート来場者数は、延べ538人と昨年を50人上回った。 ・公会堂の稼働率は、9月までながら84%となり計画値を大きく超えている（さんかくプラザ及びがくと館駐車場の改修等近隣の公共施設の利用状況も要因のひとつと考えられる）。 ・無料で良質なコンサートを実施できているため、来場者の満足度は91%と高い。	【事業費】 昨年と同数の開催だが、出演者（団体）により変動。（令和5年度：高校生の団体が謝礼等辞退のため）  【人件費】 コンサート当日の対応人数を4名から3名に減らしたため。

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

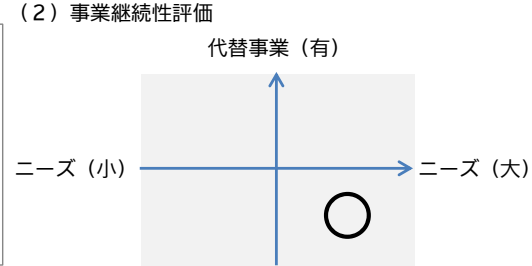
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



継続	一次評価コメント
令和6年度は、10月～3月まで公会堂の空調工事があり、会場や出演者の日程の調整により3回の実施となった。演奏内容は、地元で活躍する社会人の演奏家を多く招聘するとともにプラスバンドやクラシックギターなど様々なジャンルのコンサートを開催することができた。 事業の満足度は高く、良質な演奏を気軽に聞けると評価を得ており（アンケートより）、来場者のリピート率も約50%と市民に定着している。 来場者の70%以上は60代以上が占め、広報こおりやまやチラシから開催情報を得ていることを踏まえ、若年層の来場者獲得のため今後もウェブやSNSの発信に継続して努める。 引き続き、公会堂の活用促進と若手音楽家の育成により「楽都郡山」の普及啓発を図っていく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
	○	○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		2
2 公平性		3
3 効率性		4
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

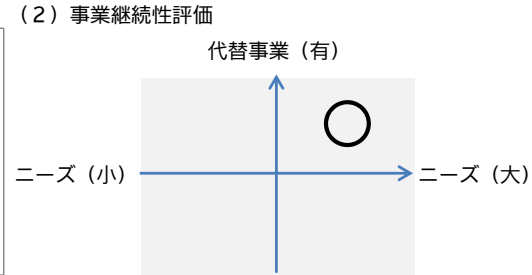
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



改善	二次評価コメント
令和6年度は公会堂の工事の影響でコンサート開催回数が1回減となったが、おおむね計画どおり活動を実施し、来場者の満足度も高かった。 事業目的である公会堂の稼働率については、本市の公共施設の中でも稼働率の高い状況が継続しており、目的が達成されている現状においては、本事業の在り方を見直す必要がある。 なお、事業の在り方を見直すにあたっては、これまで「音楽都市こおりやま」のイメージ定着を部局間協奏で推進してきた経過を踏まえ、関係部局と協議の上、検討する必要がある。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画